

平成二十三年 度前期選抜学 力検査

国 語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **3** までで、六ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに別紙があります。

- 注
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(九)の各問いに答えなさい。(三十一點)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① 学習と部活動の両立に励む。
- ② 彼は短距離走で顕著な成績を残した。
- ③ イギリスで人気であった小説を翻訳する。
- ④ せきにんを持って仕事に取り組む。
- ⑤ 友人はいつもほがらかに笑っている。
- ⑥ ノーベル賞受賞の*かいきよ*を成し遂げる。

(二) 次の①、②の文の□に当てはまる言葉として最も適当なものを、下のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 風邪予防のための注意を□する。

ア、喚起	イ、寒気	ウ、換気	エ、歓喜
------	------	------	------
- ② 世界に□生物の保護を呼びかける。

ア、気性	イ、気象	ウ、希少	エ、起床
------	------	------	------

(三) 次の①、②の各組の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ①

ア、出発は遅れたが、バスの時間に間に合った。
イ、相手は強かったが、勝つことができた。
ウ、早起きすることが、私の日課だ。
エ、今日はいいい天気だが、風は冷たい。
- ②

ア、この道具はとても便利だ。
イ、そこにいるのは私の妹だ。
ウ、春は心浮き立つものだ。
エ、そのボールペンは私のだ。

(四) 次のAの文章には、かなづかいの誤っているところが一か所ある。かなづかいの誤っている部分を(例)にならって一文節で抜き出し、正しいかなづかに直しなさい。

(例) 学校えは、歩いて数分かかる。 □ 学校えは ↓ 学校へは

A 積もった雪もとけはじめ、長くつづいた冬が終わろうとしている。春はまじかに迫っている。

(五) 次のA、Bの文について、言い表していることの違いを説明しなさい。

A 私だけ図書館へ行った。

B 私も図書館へ行った。

(六) 次のA、Bの文の傍線部分を、適切な敬語の表現に直すとき、最も適当なものを、下のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

A 私はお客様に「いらつしやいませ」と言った。

ア、承った
イ、おつしやった
ウ、お話しになった
エ、申し上げた

B 先生が私の家に来た。

ア、参上した
イ、いらつしやった
ウ、伺った
エ、参った

(七) 次のAの古文の傍線部分を現代かなづかいに改め、すべてひらがなで書きなさい。

A いとをかしう、やうやうなりつるものを。

(『源氏物語』より)

(八) 次のA、Bの慣用句のうち、いずれか一つを選び、選んだ慣用句を適切に用いて、その慣用句としての意味を生かしたまとまりのある文、または文章を作りなさい。

A じだんだ踏む

B 口火を切る

(九) 次のAの文は、意味があいまいな文である。あとの①、②の指示にしたがって、それぞれの意味が明らかになるように、Aの文をそれぞれ書き直しなさい。

A 九月にカナダへ行っていた兄が帰国した。

- ① 兄がカナダへ行っていたのは九月であることが、明らかになるように、語順を変えなさい。
② 兄が帰国したのは九月であることが、明らかになるように、読点を一か所付けなさい。

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十七点)

(一) 波線部分①「性質」、②「平面」は、それぞれ上と下の漢字がどのような結びつきをしている熟語か、最も適当なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

ア、上と下が主語と述語の関係にある語 イ、上が下を修飾する語 ウ、下が上の目的や対象を示す語
エ、上と下の意味が反対になる語 オ、上と下の意味が似ている語

(二) 傍線部分(1)「癖」の字の読み方がわからないとき、漢和辞典を用いて、次の二つの方法で調べることができる。A に当てはまる部首名と、B に当てはまる言葉を、それぞれ書きなさい。

- ① 部首索引を使って、「A」の項で調べる。
② B 索引を使って、十八画の項で調べる。

(三) 傍線部分(2)「見える」とあるが、「見える」と活用の種類が同じものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、会う イ、出る ウ、する エ、見る

(四) 傍線部分(3)「見分けなければならぬ」を単語に分けるとどうなるか、最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、見分け／なけれ／ば／ならない イ、見分け／なけ／れ／ば／ならぬ
ウ、見分け／なければ／ならぬ エ、見分け／なけれ／ば／ならぬ

(五) 傍線部分(4)「時間のかかる辛い修業であった」とあるが、修業が時間のかかるものであったのはなぜか、その理由を、本文中の言葉を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(六) 二重傍線部分のカタカナと、次のア、イの傍線部分のカタカナを漢字に直すとき、二重傍線部分と同じ漢字を使うものはどれか、次のア、イの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、固体がエキ体に変化する。 イ、中部地方は賀エキが盛んな地域だ。
ウ、時間を有エキに使うようにする。 エ、沿道でエキ伝競走の応援をする。

(七) 傍線部分(5)「世の仕組みも、人々の考えも努力や修業、技を持つ体を不要なものとしたのだ」とあるが、世の仕組みや人々の考えが「努力や修業、技を持つ体を不要なものとした」のはなぜか、その理由を、本文中の言葉を使って書きなさい。

(八) 傍線部分(6)「働くことの喜びをどうやって復活させるのか」とあるが、筆者の考える「働くことの喜び」とはどのようなことか、本文中の言葉を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

3

文化庁は、人々の国語に関する意識を調査するために、全国から抽出した十六歳以上の男女を対象に、毎年、「国語に関する世論調査」を実施している。次の表は、この調査の一つとして、「毎日の生活に必要な情報を何から得ているか」を尋ねた結果をまとめたものである。この表を見て、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

「毎日の生活に必要な情報を何から得ているか」
(選択肢の中から三つまで選択して回答)

情報入手する方法	平成13年度	平成20年度
テレビ	92.6%	86.0%
新聞	87.1%	76.6%
パソコン(インターネット)	12.6%	29.8%
雑誌	29.7%	18.7%
ラジオ	19.6%	16.2%
ちらし・ビラ	18.0%	12.9%
携帯電話	(選択肢なし)	12.1%

(「平成20年度 国語に関する世論調査」より作成)

(一) 次の文章は、この表からわかることを簡潔にまとめたものである。 [A] と [B] には、対義語となる漢字二字の熟語がそれぞれ当てはまる。 [A] と [B] に当てはまる適切な漢字二字の熟語をそれぞれ書きなさい。

平成二十年度の調査では、人々が毎日の生活に必要な情報入手する方法の上位は、「テレビ」、「新聞」だが、平成十三年度の調査と比べると、選択した人の割合は [A] している。一方で、「パソコン（インターネット）」を用いて情報入手する人の割合は [B] している。

(二) この表の「情報入手する方法」の項目は、どのような順で上からならべられているか、一文で説明しなさい。

(三) わたしたちは、毎日の生活に必要な情報入手するために、さまざまな方法を利用している。あなたが毎日の生活に必要な情報入手するために、よく利用している方法を一つ取り上げ、その方法の長所・短所について、それぞれ他の方法と比較することによって明らかにしながら、あなたの考えや意見を「作文の注意」にしたがって書きなさい。ただし、情報入手する方法として、この表にある項目以外の方法を取り上げてもよい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えや意見が明確に伝わるように書きなさい。
- ③ 原稿用紙の使い方にしたいが、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。